



# 中学校全員給食実施へ予算化

A photograph of a meal served on a light green rectangular tray. In the center is a white plate with a blue floral border containing a fish fillet with a golden-brown crust, garnished with red and green bell peppers. To the left is another white plate with a blue floral border, featuring a clear soup with cubes of white tofu, red bell pepper strips, and thin slices of meat or seafood. To the right is a white bowl filled with a grainy, textured rice dish, possibly containing meat or vegetables. A white plastic bottle of milk stands behind the plates. The entire arrangement is set against a background of warm-colored wooden paneling.

町田市内の小学校給食試食会（2018.10）

では、自校方式・親子方式で可能な学校は先行して実施することを求めていきます。同時に、各中学校への栄養士の配置、アーレギー対応など小学校で実施されている給食に近づける努力が必要だと考えます。安全でよりんと力を合わせます。

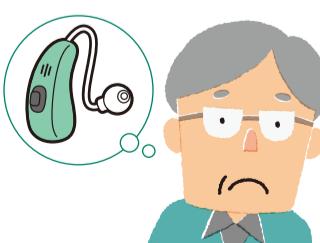
## 「市民病院出産費」 10万円引き下げに

「市民病院出産分娩費」を、2021年4月  
1日からこれまでの約63万円を約53  
万円に引き下げる条例改正が行われま  
した。市民から市民病院の出産費が高  
すぎるという声が寄せられ、  
日本共産党は、引き下げを提  
案していました。引き続き出  
産費用の軽減に取り組みます。



## 「補聴器購入費用の助成を求める請願」

70歳以上の2人に1人がなる難聴。治療法がなく、改善のためには補聴器が欠かせません。認知症との関連も指摘され、補聴器購入への支援を求める声が増えています。2020年度第4回定例議会に提出されて継続審査になっていた「高齢者の補聴器購入費用の助成を求める請願」が審議され、いきいき生活部長は「加齢に伴うもので、助成する考え



上治部長は「加齢に伴うもので、助成する考え方ではない」と答弁。日本共産党の細野りゅう子市議は「必要だからこそ都内14自治体で実施され、都も2分の1補助している」と採択するよう求めました。請願には、日本共産党などが賛成しましたが、自民、公明、保守の反対で不採択になりました。

町田市の中学校給食が大きく前進します。今年1月の「町田市学校給食問題協議会」の答申をうけ、教育委員会は成長期の中学生全員に安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供をするため、新

# 順次全員給食スタート 2024年度から

町田市の中学校給食が大きく前進します。今年1月の「町田市学校給食問題協議会」の答申をうけ、教育委員会は成長期の中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供をするため、新たな中学校給食の提供方式として「全員給食・給食センター方式」の導入を提案しました。2021年度予算





## 子どもの声を聞き より豊かな給食を

――新たな中学校給食の提供方式について――の答申には、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという適温提供や、食育や地産地消の推進など、子どもたちの声や市民の皆さんの求めしてきた内容が盛り込まれて

には――(仮称)町田市学校給食センター整備基本計画」作成予算が盛り込まれています。1ヶ所目の給食センターを旧忠生6小跡地に整備すること、市内に計3ヶ所、3000人定しています。

2021年第1回定例会が行われました。一般会計予算（1700億円）は、市民要求に応えた予算がある一方、（仮称）国際工芸美術館整備や市立図書館の廃止、学校統廃合の推進、障がい者施設借り上げ補助削減などの内容があるため、日本共産党は反対。賛成多数で可決しました。日本共産党が提出した「総務省官僚の接待疑惑の徹底解明を求める意見書」が、賛成多数（自民、公明は反対）で可決しました。

**市民の命と暮らし守り、少人数学級実現、図書館を存続することに優先投資を！**

市長の施政方針に対する代表質疑で、殿村市議は、新型コロナパンデミックから学んだことは何か。地方自治体として、市民に「自己責任」を求めるのではなく、コロナ禍の今こそ「公助」の役割を果たし、市民の命と暮らしを守ることを中心据えよと質問。市長は、「ワクチン接種を急ぐ」、「デジタル化推進」、「未来に投資」する。中でも、芹ヶ谷公園『芸術の杜』プロジェクトには、「果敢に投資する」と答えました。殿村市議は、優先すべきは「少人数学級実現と図書館存続で、子どもたちと市民の未来にこそ投資をし

## = 臨時市議會 (4/9)

## 中小企業者家賃補助、

# 高齢者・障がい者施設PCR検査など コロナ対策の補正予算

臨時議会では、コロナ感染拡大を受け、事業継続に困難を抱える市内事業者や市民生活を支援するために、国の臨時交付金や都の補助金を活用した総額19億6811万円の補正予算(案)を全会一致で可決しました。この間、党市議団が要望書や議会質問で求めてきた中小企業者家賃補助事業[第3弾]や、子育て世帯生活支援特別給付金、高齢者・障がい者施設に対するPCR検査強化事業などが盛り込まれています。